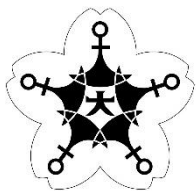


学校教育目標「一人ひとりが生き生きと輝き、知・徳・体の調和のとれた自立した子の育成」



大積小だより

愛・アイデア・アクション!

令和7年9月4日

第22号

北九州市立大積小学校

校長 古澤 律子

電話 341-8296

大積小学校 学校いじめ防止について

9月は、全市一斉のいじめ防止月間です。大積小学校では、学校いじめ防止基本方針を策定し、いじめ防止、いじめの早期発見及びいじめへの対応を行っています。大積小学校ホームページに「令和7年度学校いじめ防止基本方針」を掲載しています。

[r7_ijimebousi.pdf](#)



「いじめ」とは、いじめ防止対策推進法の中に、以下のように定義されています。

【いじめの定義】

「いじめ」とは、児童生徒等に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的または物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの

- ・「いじめは、どの学校でも、どの子にも起こり得る」という危機意識をもつ
- ・「いじめは、人間として絶対に許されない」という強い認識をもつ
- ・「いじめられている子どもを最後まで守り抜く」という信念をもつ

この考え方を基にして、学校組織としていじめ防止等について、対応していきます。

いじめの早期発見として、学校生活アンケート（学期に1回、年3回）をとり、実態把握に努めるとともに、児童が相談しやすい体制を整えたり、スクールカウンセラーを活用したりします。今年度も、5年生については、スクールカウンセラーと全員面談を実施しました。5年生以外の児童や保護者の方も予約して相談することが可能です（要予約）。また、東郷中学校区で、「いじめ防止ミーティング」を開催する予定です。今年度は、SNSの使い方について話しています。現在、保護者の皆様にアンケートをお願いしているところです。まだ、回答されていない方は、ぜひご協力をお願いします。

<https://forms.office.com/r/Ct2qTty8n0>

おすすめの本のPOPを作ろう

9・10月は、学校をあげて、読書活動を推進します。第一弾として、本のPOPを募集しています。お気に入りの一冊に出会うことができるように、図書館職員の先生の力を借りながら、読書環境を整えていきます。

「身近に本、気軽に読書」をキーワードに、本の世界を楽しむ子どもたちが一人でも増えるとういことです。ご家庭でも、親子で読書の時間をもたれるのもよいと思います。

わたしがすすめる1冊(さつ)は、これ!

10月「^{どくしょ ひ}子ども読書の日」に向けて、おすすめの本をしょうかい!

おまつしょうかこう としよしつ
大積小学校の図書室にある本の中から、POPをつくろう。

えほん ものがたり ずかん
絵本・物語・図鑑など、なんでもOK!

しめきり 9月30日

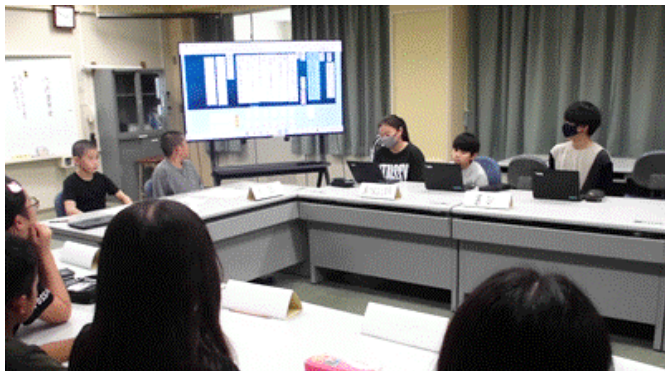




代表委員会

9月2日、代表委員会を開きました。9月19日に予定している小中オンラインミーティングに向けて、小学校の意見をまとめました。

議題：ネットトラブルから自分や友達を守ろう。



インターネットは、SNSを含めて大変便利ですが、昨今子どもたちの様々なトラブルが報告されてもいます。代表委員会では、ネットトラブルから自分や友達を守るために各学年で話し合った内容を出し合っ、意見をまとめていきました。

個人情報や個人の特定につながることを書きこまないことや顔が見えない相手に対して言葉の使い方を考えること、送信する前に一度立ち止まって見直すことなどの意見に集約されました。

東郷中学校区の4校（大積小、白野江小、柄杓田小、東郷中）の代表児童・生徒でミーティングを行い、3か条にまとめていく予定です。

シェイクアウト訓練



DROP!



COVER!



HOLD ON!

9月1日、防災の日に、地震に備えたシェイクアウト訓練を実施しました。揺れがおさまるまで、教室では机の下に避難して身を守る訓練を行いました。運動場にいる時や、登下校中の時など状況に合った避難の仕方についても考えることができるよう指導していきます。



また、災害時の避難場所について、話す子どももいました。ご家庭で日頃より確認されているのだと感じました。この機会に話題にされてはいかがでしょうか。

がんばった家庭学習チャレンジ週間

夏休み明けの家庭学習チャレンジ週間では、生活リズムを整えながら、学習できる環境を整えていただき、ありがとうございました。決められたことをやらされるのでは、なかなか意欲がわきにくいものです。もちろん、基礎基本を習得することは基本ですが、加えて、自分で決める場を設定するよう、先生たちも工夫しています。自主学習ノートには、自分が興味をもったことを調べたり、読書の感想を書いたりするなど、工夫したものが見られました。家庭で何を学習させたらよいのか、参考にしていただきたい、家庭学習チャレンジハンドブックを再度ご紹介します。「学ぶことが楽しい」と感じるように学校でも指導していきます。参考となる家庭学習ノートも校内に掲示しています。

1年生～4年生版

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/001125580.pdf>

5、6年生版

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/001125581.pdf>

